



問い合わせ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 牛島 学

電話 022-363-0111(内線2530)

平成29年7月11日

第二管区海上保安本部

午前11時発表

43年ぶりに酒田港を広範囲に測量します

酒田港とその周辺を測量船「天洋」により水深測量します。港外を広範囲に測量するのは昭和49年(1974年)以来、43年ぶりとなります。

酒田港は近年、コンテナ貨物取扱量が飛躍的に伸びるなど、入港船舶が増加しています。

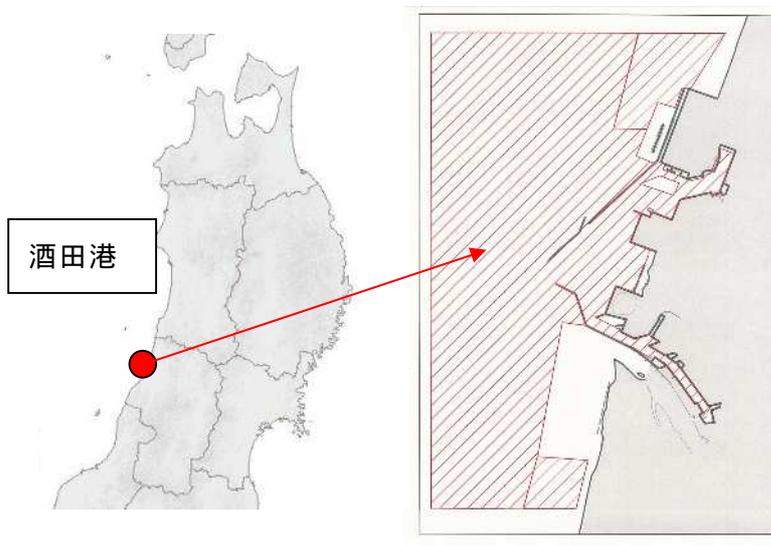
第二管区海上保安本部は、酒田港の出入港がより安全に行え、海図利用者の利便性も向上できるよう海図の範囲を広くすることを検討しています。

そのため、酒田港周辺を広範囲に水深測量することとしました。

7月18日から8月4日までと、11月29日から12月8日までの2度にわたり、測量船「天洋」(船長：早瀬達哉(はやせ たつや))により酒田港の水深測量を実施します。

港内については、浚渫等行われた際にその都度、国や県によって水深測量が実施されていますが、港外の水深測量を広範囲に行うのは昭和49年(1974年)以来、43年ぶりとなります。

水深測量実施予定区域



海図範囲変更予定



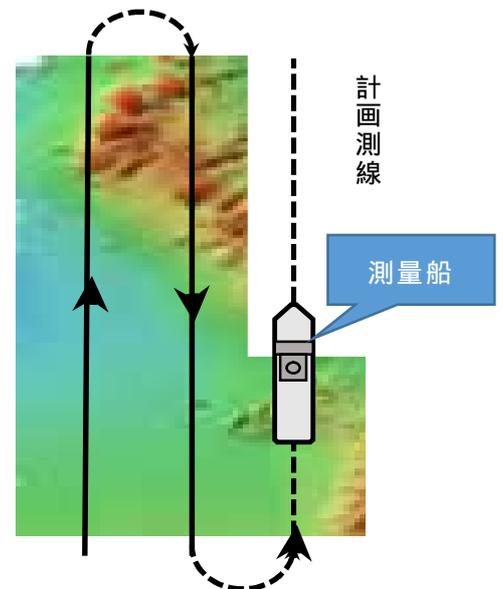
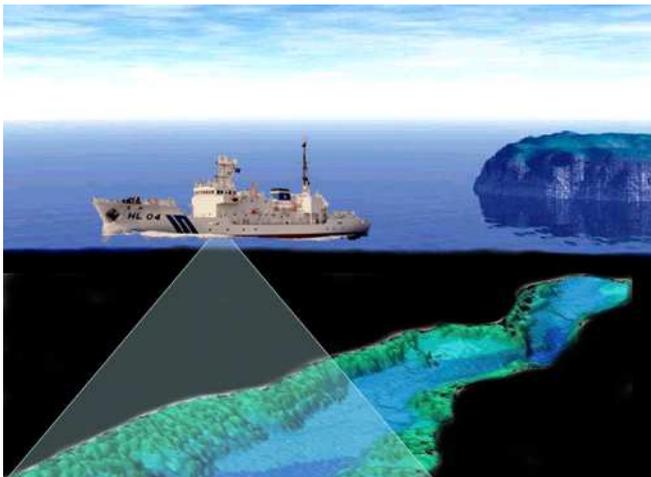
測量船「天洋」の概要



塩釜航路航行中の天洋

- ・ 総トン数 430 トン
- ・ 主要寸法 56.0 × 9.8m
(全長 × 幅)
- ・ 主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水深水温計
超音波流速計

水深測量の概要



測量船から海底に向けて広角に音波を出し、音波の往復時間と水中での音の速度から水深を計測します。

船の航跡に沿って水深の約3倍以上の幅で海底地形を明らかにすることができます。